



Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

2022-2023年度 ガバナー 森本 芳宣

5月は「青少年奉仕月間」



九度山町「丹生川渡しの鯉のぼり」 写真提供:中谷 新治(粉河RC)



イマジン
ロータリー

2022-2023年度 R | テーマ

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/morimoto>



目次

RI会長 5月のメッセージ	1
5月のガバナーメッセージ	2
青少年プログラム	3
ロータリーの青少年保護	4
【RIニュース】	
国際大会講演者ラインアップ	5
ポリオ根絶活動にマラリアとの闘い	6
END POLIO NOWニュースレター	7
【地区活動報告】	
第41回RYLA研修セミナー	8
2023-24年度 米山奨学生 入学式等	9
2023-24年度のための「地区研修協議会」	10

【クラブ活動報告】

創立35周年記念例会を開催 和歌山城南RC	11
こども文化体験プロジェクト 堺おおいずみRC	12
お城のトイレを快適に 和歌山東南RC	13
創立70周年記念事業・記念例会 田辺RC	14
新会員の紹介	15
ハイライトよねやま Vol.277	16-17
コーディネーターニュース5月号	18-19
会員数報告(2023年3月)	20
My Rotary 登録状況(2023年4月)	21
5月の行事予定	22



ロータリーのビジョン声明

私たちは 世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

より大きな **インパクト**をもたらす
参加者の **基盤**を広げる
参加者の**積極的な** **かかわり**を促す
適応力を高める

ロータリーの中核的価値観

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ



「世界を変える行動人」と共感の心

RI会長メッセージ

RI指定記事

今こそ、勇気を持った、積極的なリーダーシップが必要とされている時であると私は確信しています。

先月の会長メッセージでは、私の大切な友人、アリエラ・カラセドさんのストーリーを紹介しました。彼女はロータリーファミリーの素晴らしい一員であり、元インターアクター、そして、現在はロータリアンとして、素晴らしいリーダーです。

アリエラさんは、パニック障害を乗り越えた体験談を共有してくれました。実は私も同じ経験をしています。彼女のストーリーに対する大きな反響は、人はお互いの強さだけでなく、弱さも認め合うことがいかに重要であることを示しています。お互いの居場所を見つけるために私たちが語り合うのは、ロータリーの中で「居心地のよさと配慮」を創り出すためです。私たちの言うクラブでの体験とは、私たち皆がアリエラさんが体験したような心地よさを感じることができ、皆が共感しお互いを支え合う場となることなのです。私たちが人生で直面していることが何であれ、ロータリーの中では、私たちは独りではありません。

私たちは、ポリオ根絶や環境保護を進め、支援を必要とする地域社会に希望をもたらすなど、世界に手を差し伸べることに多くの時間を費やしています。一方で私たちは、奉仕活動の仲間である他の会員やパートナーに対しては、いたわりや思いやりを傾ける必要がある、ということをお忘れがちです。



1月の国際協議会で、ジェニファー・ジョーンズRI会長(中央)とRI会長エレクトのゴードン・R・マッキナリー氏とヘザー夫人

会員にとっての「居心地のよさと配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最良の方法であり、会員維持の最善の手段です。これを最優先事項とし続けていく必要があります。加えて、メンタルヘルスのための治療に対する偏見をなくし、ケアへのアクセスを拡大するような奉仕活動を行うことで、互いの絆を深めていくことができます。ですから、ゴードン R. マッキナリーRI会長エレクトが、ロータリー会員だけでなく、私たちが奉仕する地域社会のためにも、世界中でメンタルヘルスのシステムを改善したいという素晴らしいビジョンを示したことを、うれしく感じています。

今年の国際協議会で、ゴードンさんがメンタルヘルスに焦点を当てることを発表した時、他者を支援することで、私たち自身のストレスも軽減され、気分が良くなるということをお知らせしてくれました。研究によると、親切な行為を行えば、自分自身の精神的・肉体的健康を改善する効果があることが証明されています。奉仕は世界に希望を、私たちの生活には喜びをもたらします。

今度、メンタルヘルスについて活動していくにあたって、着実に進めていくためには時間がかかりますが、118年間にわたって私たちの成してきたことの一部を発展させればよいのです。私たちは、「世界を変える行動人」であり、その行動の裏には配慮、思いやり、共感、インクルージョンがあります。メンタルヘルスの問題に取り組んでいくことは正しく、大切であるだけでなく、ゴードン会長エレクトの次年度のテーマである「世界に希望を生み出そう」を実践していく方法でもあります。会員に奉仕することは地域社会に奉仕することです。人々に歩み寄って力を貸すことで、人々はロータリーを新たな光として「イマジン」し、ロータリーの価値と無限の可能性を真に理解してくれるでしょう。

ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー 会長

PRESIDENT'S MESSAGE



イマジン
ロータリー

ガバナー メッセージ

ガバナー 森本 芳宣

5月は青少年奉仕月間です。

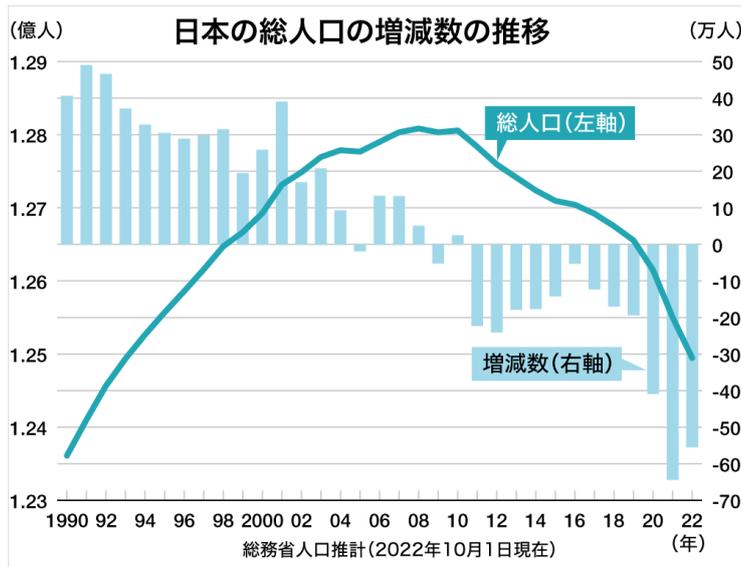
先日、総務省が日本の人口が12年連続で減少し、2022年10月1日現在で前年比75万人の減とありました。外国人の在日人口は増えています。(約19万人)



小中学生、高校生、大学生も毎年減少しています。そんな中で私は、主として和歌山を中心に仕事(税理士業)をしています。最近 外国人の顧客が増えてきました。田舎にも国際化の波が来ています。

ロータリーのプログラムで青少年交換、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、米山奨学生、ライラ活動に接し、また各ロータリークラブの青少年奉仕活動に接し、高齢化が進む日本において、青少年の国際交流と国際親善はより重要になっていると思います。

各分野において、将来活躍してくれる人材を“イマジン”して奉仕活動をしたと考えています。



青少年の国際交流と国際親善

5月はロータリー「青少年奉仕月間」です。今日のリーダーの大切な役割は、明日のリーダーを育てること。ロータリーには、インターアクト、ローターアクト、交換留学生、リーダーシップ養成など、未来を担う若者のエンパワメントをめざす数々のプログラムが多数あります。

ROTARY ROTARY

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

5月は「青少年奉仕月間」

青少年プログラム

ロータリーは、次世代のリーダーを育てることの大切さを信じています。私たちのプログラムは、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援します。



インターアクトクラブ

12～18歳の人たちが集まるインターアクトクラブでは、インターアクト会員が、リーダーシップを発揮する力を磨きながら、奉仕プロジェクトや活動を通じて国際感覚を養っています。



青少年指導者養成プログラム (RYLA)

RYLAは、若い人たちが楽しみながら新しいスキルと自信を身につけることを目指すリーダーシップ養成プログラムです。このプログラムは、1日のセミナーから1週間の合宿までさまざまな形で行われます。



青少年交換

世界100カ国以上で実施されています。ロータリークラブの支援の下、15～19歳の学生が外国語や異文化を学び、世界市民としての自覚を養うプログラムです。平和の実現を目指して国際理解を促し、若者の育成を支援します。



新世代交換

新世代交換は、30歳までの大学生と社会人を対象とした短期の交換プログラムです。人道的な奉仕活動を通じて参加者のキャリア目標を応援できるよう、参加者のニーズや要望に応じた内容の交換が行われます。

ロータリーの青少年保護

ロータリーは、差別や身体的、精神的、性的な虐待のない、青少年にとって安全かつ前向きな環境を育むことに努めています。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリー会員、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くさなければならぬ。



青少年の保護に関する懸念を報告する

[ロータリー青少年保護の手引き](#)

ロータリーは、青少年保護に関するすべての懸念を真剣に受け止めます。

虐待を防止するためのロータリーのアプローチ

若者と青少年プログラム参加者の安全と福利は、ロータリーの最優先事項です。青少年保護のためのロータリーのアプローチには、以下が含まれます。

- 青少年への虐待やハラスメントを一切容認しない
- 不正行為を防止し、青少年を含むプログラム参加者を巻き込んだ手なづけ行為や虐待への対応方法に関する方針
- 青少年保護の研修を受ける義務(ガバナーエレクト向け)
- 性的虐待やハラスメントの報告を受けて対応する際に、トラウマを考慮したアプローチを用いる訓練された職員の起用

青少年交換に関与する地区に求められる参加資格認定プロセス

- 虐待防止に関する学生、家族、ボランティア向けの研修
- 申請、犯罪歴確認、レファレンス確認を含む、ボランティアのスクリーニング
- 虐待やハラスメントをロータリーと地元警察に報告するためのプロセス
- 地区特有の青少年保護方針
- ロータリー職員による現地評価(査察)

【Rニュース】



5月27日～31日にメルボルン(オーストラリア)で開催される2023年ロータリー国際大会の基調講演では、医療の変革、都市についての再考、平和の推進、環境の保護といった分野で活躍する方々が、より持続可能で公平な世界というビジョンについて語ります。このビジョンは、未来だけでなく、今すぐ実現可能なものです。主な講演者をご紹介します。

レイマ・ボウィ(Leymah Gbowee)



2011年ノーベル平和賞受賞者で、女性の権利の擁護者であるボウィさんは、非暴力運動を主導して14年にわたるリベリア内戦の終結に貢献しました。難民キャンプで暮らした経験を持ち、少年兵のカウンセラーを務めたほか、現在は国連調停に

関するハイレベル諮問委員会のメンバー、自ら創設したGbowee Peace Foundation Africaの現会長、ニューヨーク市立大学法科大学院のジェンダー・法律・変革的平和イニシアチブ(Gender, Law and Transformative Peace Initiative)のエグゼクティブディレクターを務めています。婦人国際平和自由連盟のプログラムWomen in Peacebuilding Networkの創設メンバーであり、リベリア支部のコーディネーターも務めました。

カリ・アイナ・アイク(Kari Aina Eik)



「賢い」都市づくりを目指すアイクさんは、United Smart Cities ProgramやUnited Cities Organization and Fundsといったイニシアチブを先導してきました。国連での15年以上の経験、そして10年にわたる

Organization for International Economic Relations事務総長としての在任中には、グローバルな環境目標に向けて活動し、国連の持続可能な開発目標を形成するために数々のプログラムを指揮しました。現在は、SDG Impact Fundで効果的な慈善活動の再考に取り組んでいます。

グレゴリー・ロックソン(Gregory Rockson)



22歳で共同設立したmPharma社を通じてアフリカの医療に革命をもたらしているロックソンさんは、データ分析と革新的なインベントリーサービスを活用することで、品質を保ちながら医薬品のコストを削減しています。ガーナに本拠を置

く同社のCEOとして、アフリカ8カ国への拡大を監督。mPharmaは現在、ケニア、ナイジェリア、ウガンダで主要な薬局チェーンを展開し、サハラ以南のアフリカにおけるコミュニティ薬局の大手となっています。同社は1,000以上の病院と薬局と提携し、200万人以上の薬を節約するのを援助してきました。

ナキーヤ・ドラマニ・サム(Nakeeyat Dramani Sam)



弱冠10歳の気候変動活動家であるサムさんは、Climate Vulnerable Forumの親善大使としてエジプトのCOP27でガーナを代表してスピーチし、ほかの代表団に向けてこう語りました。「思いやりの心で計算してみてください

い。これは緊急を要することです」。7歳でガーナの「才能ある子どもコンテスト」で優勝。同国の若き平和大使として称号を与えられています。『Nakeeyat Trees for Life』の著者であり、現在は自身の次のプロジェクト「One Tree, One Child」に取り組んでいます。

【RIニュース】



ポリオ根絶活動はマラリアとの闘いには役に立つか

<https://www.rotary.org/ja/tools-and-vision-how-ending-polio-helps-fight-malaria>

ポリオワクチンの接種活動を行うパキスタンのヘルスワーカー。マラリアが広がる仕組みを教えるための寸劇を披露するザンビアのボランティア。これらの取り組みは、一見まったく異なるように見えますが、深いつながりがあるのです。

ポリオ根絶の闘いでは、世界的なパートナーシップによって何百万人もの協力者を動員し、十分なサービスを受けていない人びとへの支援を行い、かつてないほどの量の保健情報を収集しました。ロータリーが中核的パートナーである世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)は、マラリアとの闘いにおいても重要な役割を担っています。

UNICEF(国連児童基金)の推定によると、ほぼ1分間に一人のペースで5歳未満の子どもがマラリアで死亡しています。「子どもたちは、免疫力がついていないため最も影響を受けやすい」と話すのは、「マラリアのないザンビアのためのパートナー」(200万ドルを提供するロータリーの大規模プログラム補助金の最初の受領プログラム)の委員長、ビル・フェルトさんです。

しかし、マラリアは予防可能な疾病で、根絶は可能だと信じる人は大勢います。GPEIの成果に触発され、そのツールを備えた保健専門家とロータリー会員が、ポリオ根絶活動の教訓をマラリアに適用しています。

情報という課題

ザンビアのローターアクターは、マラリア予防のために殺虫剤で処理された蚊帳の重要性を伝えるため、蚊に扮して寸劇を披露しています。これは識字率の低い地域の住民に働きかけるための効果的な方法で、「疾病を食い止めるには誤った情報を払拭する必要がある」というGPEIの教訓に基づくものです。

「エチオピアでポリオの予防接種活動を始めたとき、このワクチンはイスラム教徒の子どもたちを不妊化するという噂が広まりました」と、Malaria Partners Internationalの事務局長であるジェニー・アンドリュースさんは話します。「しかし、ロータリーは宗教指導者、伝統療法の施術者、部族リーダー、医師と協力してラジオやテレビで情報を発信し、人びとの恐怖心を払拭できました。ポリオから学んだことは、問題が起こるのを待つのではなく、先手を打つということです」

マラリアとの闘いでは多くの誤解と直面します。農村部の家屋で殺虫剤を散布し、それによって蚊が飛び回ると、蚊を呼び寄せていると思われることがあります。蚊帳を配るとき、それが無料であることを知らな

い人たちがいます。また、感染症を治療せずに放置すると、ほかの人が危険にさらされるということを多くの人が認識していません。

Malaria Partners Internationalの創立理事会メンバーであるジム・ムーアさんは次のように話します。「マラリアにかかっても、医療施設から遠く離れた場所に住んでいる人は、『まあ、前にもかかったことがあるし、我慢する』と言うことがあります。私たちは、体調が悪かったらマラリア検査を受けるようにする、という啓蒙活動も行っています。マラリア患者が蚊に刺されると、寄生虫が蚊に移り、さらに隣人や家族にも広がる可能性があるからです」

「私たちの重要な仕事は、宗教指導者、ビジネスリーダー、部族リーダーなど、地域の指導者に情報を提供し、マラリアがどのように感染するかを理解してもらうことです」と彼は付け加えます。

ロータリーのポリオ根絶活動のおかげで、会員は既にこれらの指導者／リーダーたちとの強固な関係を築いています。ロータリー第5030地区のバスター・バスターであるエズラ・テシヨメさんは、1997年以来、エチオピア、ウガンダ、ケニアでのポリオ予防接種活動でロータリー代表団を率いてきました。効果的にマラリア対策を講じるには、主要な政府関係者を巻き込むことが重要だとテシヨメさんは話します。幸いなことに、彼は誰に相談すればよいかを既に知っています。

「東アフリカでの私の仕事の成功は、適切な人脈を築くことにかかっている」とテシヨメさん。「この地域の国々では、保健大臣、首相、大統領府とのつながりを築くことができおり、これによってヘルスワーカーを支援することが容易になります」



早期介入の重要性と、病気を媒介する蚊の役割を説明するための寸劇を行う、ザンビアのコミュニティ・ヘルスワーカー。

【RIニュース】

END POLIO NOW ニュースレター



2023年における成功の鍵は「重要な地域」

今年は、世界的なポリオ根絶活動にとって重要な一年となります。GPEIの現在の根絶戦略によると、2023年の目標は、残るポリオウイルスの伝搬を世界的に完全に阻止することとなっています。では、具体的に何に焦点を当てているのでしょうか。それは、最も重要な地域の「ゼロ投与の子」にワクチンを届けることです。これらの地域は、世界的ポリオ根絶活動において最も大きなインパクトがある地域です。

GPEIポリオ根絶戦略 2022-2026に従って、残りのポリオウイルス感染が世界中で完全に遮断される予定の年です。今年のはじめには疫学的にユニークな機会が訪れており、これを利用する必要があります。では、今年成功を達成するためのプログラムの焦点は何ですか？ 答えは、最も重要な地域でゼロ線量の子供たちに手を差し伸べることです。

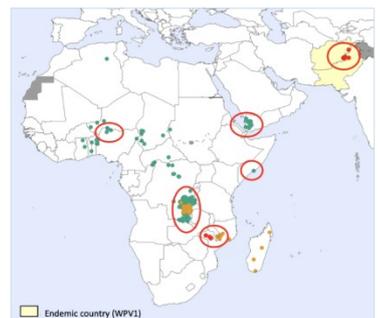
野生型ポリオウイルスの常在国であるパキスタンとアフガニスタンの2か国では、ウイルスの感染はかつてないほど地理的に制限されています。たとえば、パキスタンでは、2022年のすべての症例は、国内の合計180地区のうち、1つの州のわずか6地区に集中していました。しかし、さらに重要なことは、ウイルスの生物多様性（つまり、国内で活発に循環している個々に異なるウイルス系統）が減少し続けていることです。2020年には、この国は11の個別の伝染連鎖の影響を受けていましたが、これは2021年には4つに減少し、2022年には1つの連鎖にまで減少しました。これは、個々のウイルス株がうまくノッ

クアウトされていることを意味します。アフガニスタンの状況は非常に似ています。

ウイルスは現在最も弱体化しており、ウイルスを完全に一掃するチャンスは今が最大です。どうやってこれを行うのですか？ 非常に具体的には、「最も重要な地域」にすべての努力を集中することを意味します。世界的な根絶活動に最も大きな影響を与える地域があります。

しかし、最も重要な地理は何ですか？ 簡単に言えば、それらは世界中の7つの準国家地域です（アフガニスタン東部、パキスタンのカイバル・パクトゥンクワ南部、モザンビーク北部のテテ州とその奥地、コンゴ民主共和国東部、イエメン北部、ナイジェリア北部、ソマリア中南部）。これらの地域は、いくつかの重要なプログラム上の特徴を共有しています。これらの地域には、ゼロ線量の子供（ワクチン接種を受けていない、または十分に接種されていない子供）の割合が最も高く、最も人口密度が高いことが特徴であり、より広範な人道的で複雑な緊急事態の影響も受けています。一部の地域では治安が悪いことも含め、これらの最も周縁化され、最後に残ったワクチン未接種のコミュニティに手を差し伸べることは、なおさら困難です。

私たちの最も重要なプログラムの目標は、これら、**7つの地方**の最も重要な地域における複雑な人道的緊急事態の性質を反映するように私たちの活動を適応させることでなければなりません。



【地区活動報告】

第41回RYLA研修セミナー



地区青少年・ライラ委員長 土屋 一博

本年度ライラセミナーは、3月25日(土)～27日(月)の2泊3日で、セミナー会場を和歌浦武道館として開催しました。

2020年1月15日に、日本に初めて感染者が出てコロナウイルス感染症のパンデミックからもう3年余しになります。長らく続いたコロナ禍で生活様式も変わり、ネットやバーチャルで人と接しない日々が続いていました。季節もゆるむ中ワクチンも進み、以前の日常を取り戻すべき時期に、私はあえてリアルでコンタクトスポーツである武道に着目し、テーマを「武道からの学び～礼法、作法を理解してみよう」としました。



また、和歌山県柔道連盟様に主旨を理解して頂きタイアップしました。安全、安心を担保しながら、実際に体を動かしたり、手拍子をしたり、声を出したり、手を繋いだりすることにより、対面によるコミュニケーションに喜びを感じるセミナー生が多くいたことにはびっくりしました。また、理屈では理解していても実際やってみると出来ないという体験をさせました。

それは、相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちを表現するのにリアル(対面)は重要であると感じたはずです。

1日目は、柔道の講義(立ち方、座り方、その意味)

2日目は、合気道の講義(体のさばきや、力の流れ)

3日目は、ミュンヘンオリンピック柔道金メダリストの講義「夢を叶えた柔道」

他には、能力開発講義(速読、テキストによる自己スピーチ能力向上) 夜はバーベキュー(2日目)研修生(37名)は、ギターの音色と共に親睦を深め、最後には、全員ステージに上がり、「We are the world」を熱唱するまで盛り上がりました。最終日には、パストガバナーによる、ロータリーについての講義をプロジェクターを使いながら行い、セミナー生は深く聞き入っていました。その内容は、バスセッションや、1分間スピーチにも盛り込まれ、しっかりとした発表も聞けました。

天候こそ恵まれませんでした。沢山の周りの人のご協力のおかげで、無事全行程を終了しました。セミナー生のこれからの社会生活の糧に成長の種の芽吹きを期待しています。



【地区活動報告】

2023-2024年度 米山奨学生
オリエンテーション・カウンセラー研修・入学式

地区米山記念奨学委員会

米山記念奨学委員会は、4月9日(日)和歌山JA会館にて2023-2024年度奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修・入学式を開催しました。

入学式の前に奨学生オリエンテーションとカウンセラー研修会が並行して行われ、オリエンテーションでは、納谷学友小委員長による「奨学生が守ること・1年間の行事等について」、玉井委員による「卓話について」、董 洵 学友会会長が「学友会について」のそれぞれの説明が行われました。また、カウンセラー研修では、新本米山記念奨学委員長の講義が行われました。

その後の入学式では、奨学生とカウンセラーの顔合わせのあと奨学生確約宣言、米山ピンバッチ贈呈などが行われました。

今年度採用生16名はこの行事をもって晴れて奨学生となりました。学生はまだ不安な中のスタートとなりますが、今後のサポートと地区米山記念奨学会事業へのご理解ご協力、奨学生増員に向けてのご寄付をよろしくお願い致します。

最後に一つご案内させていただきます。2023年8月5日・6日と茨城県つくば市にて米山学友世界大会「再会in関東」が2006-08年岸和田RC所属米山奨学生・朴貞子実行委員長のもと開催されます。今年度米山奨学生と地区学友有志が参加予定です。誘い合わせの上、ご参加をお願い致します。(詳細はガバナー事務所・米山奨学生とへ問い合わせください)



【地区活動報告】

2023-2024年度 のための「地区研修・協議会」

4月16日、日曜日、和歌山大学のキャンパスにおきまして、2023-2024年度のための「地区研修・協議会」を開催致しました。



次年度、各クラブで委員長に就任される皆様をはじめ、各クラブの次年度会長の皆様にも、PETSに引き続き、ご参加頂きました。

そして、次年度ガバナー補佐、地区委員会委員長の皆様をはじめとする地区役員の皆様、歴代パストガバナーの皆様にも参加頂き、本協議会が「思いやりあふれる、明るく元気なロータリーへ！」のスローガンの元、しっかりと！開催されました事をご報告させていただきます。

そして、この協議会を開催するに当たり、何ヶ月も前から設営の準備を入念に行って頂きました。地区役員皆様、次年度地区事業を後方支援下さいます和泉RCの皆様にも感謝申し上げます。

ご参加頂きました、皆様本当にありがとうございました。皆様「次年度は一緒に明るく！元気にロータリーを楽しみましょう！」



次年度 RIテーマ



世界に希望を生み出そう

次年度 地区スローガン

「思いやりあふれる、
明るく元気なロータリーへ！」

【クラブ活動報告】

創立35周年記念例会を開催

和歌山城南ロータリークラブ

1988年3月24日、和歌山南RC様をスポンサークラブとして誕生した当クラブは、4月8日（土）、和歌山マリーナシティホテルにおいて、森本ガバナー、田原ガバナー補佐、和歌山市内8RCの会長・幹事の皆様並びに姉妹クラブとして韓国から第3661地区・釜山萊城RC会員ご家族のご臨席を賜り、創立35周年記念例会を開催しました。



来賓の皆様



開会挨拶の前田会長

幹事報告のところで、クラブの主な社会奉仕活動の「和歌山市子ども暗唱大会」の過去の大会を動画で紹介した。午前中に観光を兼ねて、串本町にあるトルコ軍艦エルトゥールル号遭難慰霊碑に姉妹クラブと共に心を込めて献花を行った。



トルコ軍艦遭難慰霊碑に献花

記念例会後、懇親会では出席の皆様方と約2時間親しく交流を深めました。この記念例会当日は36名の会員（出席免除会員も含め）が全員出席し、クラブ創立後初めてのホームクラブ100%を達成する事ができ、前田会長の“和の心を大切に～”の本年度スローガンの下、全員が結束して取り組んだ有意義な記念例会となりました。

投稿記事責任者 井手良明



姉妹クラブと記念写真

【クラブ活動報告】

～心を豊かに～こども文化体験プロジェクト

堺おおいずみロータリークラブ

堺おおいずみロータリークラブは22-23年度社会奉仕事業として、地区財団資金も活用し「～心を豊かに～こども文化体験プロジェクト」と題して地域の子供達に文化体験をプレゼントする事業を行いました。



当初は小学校などとの共催を模索しましたが、まだまだ学校としてイベントを行う次期が無いとの事で、以前より当クラブが支援している、普段より子供たちを支えている地域の子ども食堂に協力をお願いしました。校区をまたぐ移動



をなくすため2校区にて2回開催し計150名の幼児・小学生またその一部の父兄へ、落語家桂紅雀さんの子供落語・堺フィルハーモニー交響楽団の弦楽4重奏・地区米山奨学生と会員による英語絵本朗読など種々の鑑賞を体験してもらいました。



また、子供落語の中では「おち」を考える質問や落語ならではの言葉遊び、堺フィルメンバーとクラブ会員による楽器体験、奨学生への質問コーナーと子供参加型のイベントを実行しました。

子ども食堂開催日に合わせたイベントでもあった為、クラブ会員による炊き出しも行い、普段子ども食堂を運営されているボランティアの皆さまにも子どもたちと一緒に過ごしてもらいました。

会場は大いに盛り上がり、あっという間の時間を過ごし、その後の昼食会で心もお腹もいっぱいになってもらい、「楽しかった」の感想をたくさんいただきました。



【クラブ活動報告】 「お城のトイレを快適に」

和歌山東南ロータリークラブ
会長 寺下 能明

和歌山市観光の拠点の一つとして、和歌山城公園が挙げられます。毎年、大勢の観光客が訪れていますが、地元市民にとりましても、和歌山城は町のシンボルでありますし、憩いの場として日常的に愛好されているのはご承知のとおりです。

当クラブは、2年前から毎年、和歌山城公園内にある公衆トイレの洋式化への改修工事に取り組んで参りました。これは、ロータリー活動の五大奉仕の一つであります、社会奉仕として、環境の観点から取り組んできたものです。

和歌山城公園には9か所の公衆トイレがありますが、その内、主要な場所に設置されているトイレにつき、和歌山市との協議により、高齢者に嫌われる和式トイレを洋式化する改修工事をロータリー財団の補助を得て、3年間継続して進めてきました。今年度の奉仕事業で一応の終了を見るところです。

普段は気にしないが、無視できない大事なものの一つがトイレでありましょう。これを少しでも快適に過ごすことができるようにと思い遣り、奉仕活動として取り組んできました。隠れた施設でありながら、大事なスポットにも行き届いたお持てなしを感じて貰えれば幸いです。

これにより、和歌山市の代表的な観光スポットである和歌山城公園が、訪れる観光客のみなさんに良い印象を与え、市民にも一層利用しやすい施設となることを期待しています。



【トイレの洋式化】



【パーティションの改修】

【クラブ活動報告】

創立70周年記念事業・記念例会

田辺ロータリークラブ

本年度70周年を迎えた田辺ロータリークラブは、2つの記念事業を行いました。一つ目は2024年3月に竣工予定の田辺市庁舎にキッズスペースの寄贈。もう一つは紀南地方に“音の種をまこう”という事業です。“音の種をまこう”という事業は、2022年12月より2023年2月まで幼稚園、小学校、中学校の9か所に、出張コンサートを行い、プロの演奏家による音楽を直接子供たちに聞いてもらうというアウトリーチを行い約2,000名の児童に“音の種”を送りました。

続いて4月9日の紀南文化会館で行われたコンサートでは、3部構成となっており、第1部は紀南地方の方たちから地元の風景等の絵画や写真を募集し、その絵画や写真に合わせてプロの



オーケストラが演奏するというもの、その募集した作品の中で最優秀賞を取った小学1年生の児童が、特典として自分の決めた曲



をプロのオーケストラが演奏し、それを指揮した。第2部は田辺市出身のバリトン歌手の須藤 慎吾さんをはじめとする日本の3大バリトン歌手が揃い、美声を披露しました。第3部はプロのオーケストラに地元の器楽演奏者・合唱者108名とバリトン歌手もそろって総勢160名程の演者によるコンサートで締めくくりました。来場者は、整理券によると1,023名の入場者。会員も前日の準備から、当日、65名が参加して盛り上げました。

紀伊民報 4月11日付 (9ページ)

美しい旋律 観客魅了
70周年記念コンサート

田辺市野新町の紀南文化会館で4月9日、田辺ロータリークラブの創立70周年記念コンサートが行われた。会場には約1,000人の観客が詰めかけた。この日は、田辺市出身のバリトン歌手の須藤 慎吾さんをはじめとする日本の3大バリトン歌手が揃い、美声を披露しました。第3部はプロのオーケストラに地元の器楽演奏者・合唱者108名とバリトン歌手もそろって総勢160名程の演者によるコンサートで締めくくりました。来場者は、整理券によると1,023名の入場者。会員も前日の準備から、当日、65名が参加して盛り上げました。

【記念例会】

1953年1月8日に創立しました田辺ロータリークラブ創立70周年記念例会を、4月20日木曜日に、白浜のホテルむさしに於いて行いました。

スポンサークラブである大阪ロータリークラブ・和歌山ロータリークラブ、森本ガバナーに他近隣の多数のロータリークラブ会長、また田辺市長をはじめとする各自治体の首長や近隣の各団体の長の方、記念事業で総監督をしていただいた指揮者の矢澤定明氏に来賓としてご臨席いただき、クラブ会員出席者72名の総勢101名での例会となりました。森本芳宣ガバナー、大阪ロータリークラブ廣瀬太一副会長に、ご祝辞を頂き、祝賀会では和歌山ロータリークラブ池内茂雄会長に乾杯のご発声をして頂きました。又 記念講演として田辺市出身の元財務事務次官の真砂 靖氏に、お話し頂きました。その後の祝賀会では田辺ロータリーバンドの演奏による田辺ロータリーの歌、唱歌等行い、和やかに締めくくりました。



新会員の紹介

	クラブ名	河内長野ロータリークラブ		クラブ名	岸和田東ロータリークラブ
	氏名	さかい たてふみ 坂井 建文		氏名	まつもと ゆみ 松本 由美
	職業分類	不動産コンサルタント		職業分類	訪問介護
	生年月日	1982年8月3日		生年月日	1967年1月31日
	入会年月日	2023年1月6日		入会年月日	2023年3月4日
	クラブ名	岩出ロータリークラブ		クラブ名	御坊ロータリークラブ
	氏名	まえの たつや 前野 達哉		氏名	やまもと きよかず 山本 喜代一
	職業分類	司法書士		職業分類	農業
	生年月日	1983年12月13日		生年月日	1950年8月8日
	入会年月日	2023年2月2日		入会年月日	2023年3月3日
	クラブ名	和歌山アセリアロータリークラブ		クラブ名	和歌山東南ロータリークラブ
	氏名	さかぐち まさこ 阪口 昌子		氏名	のぼりたて けんいち 登立 健一
	職業分類	環境事業		職業分類	住宅建築
	生年月日	1956年6月10日		生年月日	1960年9月13日
	入会年月日	2023年3月20日		入会年月日	2023年3月15日

奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリーへようこそ！

地域社会を基盤により良い世界をめざして活動する120万人の会員から成る世界的ネットワーク、ロータリーへようこそ。

ロータリーの強さは、会員にあります。会員一人ひとりがクラブにもたらすスキル、経験、熱意が、それぞれの地域に、そして世界に変化をもたらします。会員が一体となれば、子どもたちを苦しめるポリオ(急性灰白髄炎)を世界からなくし、平和の担い手を育て、疾病、飢餓、識字、貧困といった問題も少しずつ解決できると私たちは信じています。

交流を通じてアイデアを広げ、社会奉仕への熱意を共にする人たちと生涯にわ

ロータリーを体験し可能性を発見しよう

- クラブとつながる
- 世界とつながる
- 地域とつながる
- まずは行動しよう



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. **277**
2023年4月13日
発行

1. 第5代よねやま親善大使が決定！

昨年12月から約2カ月間にわたって行われた「第5代よねやま親善大使」の募集には、多くの優秀な学友から応募が集まり、最終的に33人の応募者数となりました。

募集締め切り後、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、ご応募いただいた方々の中から、以下の3人が第5代よねやま

親善大使に決定しました。

任期は2023年7月から2年間。日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使の派遣をご希望される方は、当会事務局の広報担当へご連絡ください。



陳 瑶 (チン ヨウ)
(中国/2012-14/四日市東RC)

大手企業会社員。2018年度から2年間、第2750地区米山学友会会長を務め、今年度からは同学友会副会長として活動中。中国国家衛生健康委員会と厚生労働省、各医科・薬科大学のトップ層会談や医学術交流において通訳を担当。愛称は「マリオ」さん。



ウエンブウェベ スマナサラ
(スリランカ/2018-20/京都中RC)

一燈園の研究者。「NPO アシヨーカ」を設立し、子どもの教育を支援。ウクライナ、スリランカ、インド、ネパールの学生らに対し、日本語、日本の文化・技術を教えながら、異文化理解促進、平和で幸せな世界をつくる活動に尽力している。



イメン ジェブリ
(チュニジア/2019-21/西宮RC)

東京理科大学勤務。外国人女性と日本人女性に奨学金を提供する団体(CWAJ)でボランティア活動中。視覚障害者への奨学金や、英会話教育を行う。36,000人のフォロワーを持つFacebookページ「Welcome to Japan」を運営し、日本文化や観光地を紹介。

2. 寄付金速報 — 3月も順調に推移 —



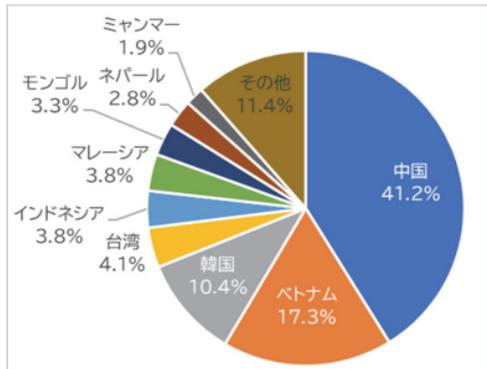
3月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増（普通寄付金:2.0%減、特別寄付金:10.1%増）、約6,700万円の増加となりました。3月単月の

寄付合計金額が5,000万円を超えたのは、前年度を除くと2018年度以来となり、コロナ禍以前の寄付状況に戻りつつあります。今年度も残り2カ月半余りとなりました。ご寄付を今年度実績扱いにするためには、6月30日（金）までに当会口座に着金するようご送金ください。よろしくお願いたします。

3. 2023 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2023 学年度の奨学生は 901 人となりました。新規採用者 648 人、継続者 253 人です（4 月 7 日現在）。国・地域別では、中国 41.2%、ベトナム 17.3%、韓国 10.4%、台湾 4.1%、インドネシア、マレーシアが同率で 3.8% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 845 人（学部 441 人、修士 237 人、博士 167 人）、地区奨励奨学金が 22 人、クラブ支援奨学金が 13 人、海外学

友会推薦奨学金が 4 人、海外応募者対象奨学金が 17 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。



4. タイ米山学友会 総会開催

2 月 25 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催されました。3 年ぶりの対面開催となった今回、26 人の学友に加え、日本からは、ロータリアンとその家族を含む 7 人が参加し、会場には 33 人が集いました。

ら足を運んでいただいたロータリアンの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。久々の対面開催でしたが、タイ学友会の強い結束力、協調性、積極性でやりきることができました。次年度も、より盛大に総会を開催できるよう頑張りたいと思います」と意気込みを語りました。

総会では、委員会の開催や会計報告のほか、病院への医療機器寄贈、小学校への遊具やスポーツ用品寄贈といった年間の活動報告、今年 8 月に開催される「再会 in 関東」についてのアナウンスがありました。同学友会会長のワラウト・ブンロッドさん（1995-97/福岡東南 RC）は、「ご参加いただいた多くの関係者と、日本か



5. 米山学友が日本の高校で出前講義

3 月 17 日、国際ロータリー第 2750 地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて国際交流活動を行いました。この活動は、もともと東京米山友愛ロータリークラブと東京米山ロータリー E クラブ 2750 が合同主催していましたが、学校側の日程都合により、今回からは同地区の学友会が主催しています。

当日は、同校の 2 年生の生徒 269 人に対し、6 人の米山学友と 1 人の現役奨学生に加え、1 人のローターアクターが講師として参加。それぞれの講師が授業形式で 7 つのクラスを回り、日本語と出身国の言葉を交えながら、自己紹介や興味のある話題、自国文化について紹介しました。今回の活動を後援し、同行した東京米山ロータリー E クラブ 2750 の疋田淳子会長は「講師がしっかり準備して臨んだことで、活気と笑い声に包まれるクラスばかりで、大変有意義な授業になりました。ぜひこれからも継続してほしい奉仕活動です」と感想を述べました。



第3地域 コーディネーター補佐

中川 基成(あすかRC)

4月は入学式や入社式で新メンバーがそろって、不安と期待で心弾ませつつ新しい一歩を踏み出す活気あふれる季節でもあります。

ロータリーにおいても新会員の入会は、クラブにとって組織活性化になり、会員にとってその人生の転機につながるという大きな意義あるものです。

ロータリーの新会員を迎えるオリエンテーションでは、ロータリーの中核的価値観を始め基本的かつ重要なロータリー情報が伝達されていることとします。

そのひとつに、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)の行動規範が加わりました。

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映したものであり、クラブ会員全員に周知されてロータリーの様々な会合、研修、行事などあらゆる場において適用されるものです。その全文はMy Rotaryにもありますが、その中の一部を以下に抜粋いたします。

期待事項

すべてのクラブ会員、ロータリープログラムの参加者、学友、プロジェクトのパートナー、ロータリー代表者を含む参加者は、この行動規範を遵守し、他者を配慮し、誰もが尊重され大切にされる協力的でインクルーシブ、かつ前向きで健全な環境に寄与することが求められています。

他者を尊重する言葉を使う

- 相手への理解を深めるために、アクティブリスニング(積極的傾聴)を実践する。
- わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。

サポートを示す

- 他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- 不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする。

温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する

- 温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。



多様性を重んじる

- 特定の人々を固定概念に当てはめたり、からかたりすることを避ける。
- 異なるジェンダーを認識し、尊重する。

DEIの行動規範をもとにして、ロータリアンやその関係するすべての人々にとって居心地と風通しの良い風土を築く努力をすることが、魅力あるクラブを育てることになります。

DEIは、魅力あるロータリーへの会員増強とともに、一人も取り残すことのないクラブの退会防止につながる大きな切り札と考えます。

社会的弱者と呼ばれている人々の為のみならず、私たち全てのロータリアン一人ひとりにとっても大いに関連するDEIと認識していきたいものです。

第3地域 公共イメージコーディネーター補佐

桑原 征一(新居浜RC)

約3年におよんだコロナ騒動もようやく収まりを見せつつあり、これから本格的にロータリー活動も再開されるものと思います。人口減少下の我が国において、ロータリークラブも会員数の維持・増強は喫緊の課題であり、各クラブの皆様方も会員の維持・拡大にご苦勞なさっておられる事と思います。

会員数の拡大・増強もさることながら、現会員の退会防止・維持も重要であると思われます。現会員の皆様が、現状のロータリークラブについてどう感じておられるか、満足しているのか、否か！今後どのような活動をしていきたいのか等々を把握することも重要だと思えます。

その意味で、本年2月に開催されました第2670地区愛媛第1分区分IMでの会員アンケートの結果をご報告させて頂きたいと思えます。今後の活動に少しでも参考になれば幸いです。

以下アンケート項目並びに回答を報告致します。(対象者 第2670地区愛媛第1分区分9クラブ364名)

紙面の制約上、ごく一部しか報告出来ないのは残念ですが、如何でしょうか？結果は皆さまの感性ですが、私は前向きにとらえています。

それぞれの会員は現状に満足し、存在・価値を高く評価していると思えます。ロータリー運動に自信をもって進んでいきたいと思えます。

【次ページへ】

あなたは自分のクラブに満足していますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
満足	13 (39%)	3 (33%)	20 (49%)	8 (29%)	8 (32%)	28 (59%)	2 (15%)	15 (54%)	17 (43%)	114 (43%)
どちらかとい えば満足	17 (49%)	5 (56%)	15 (36%)	14 (52%)	8 (32%)	16 (33%)	4 (32%)	9 (32%)	13 (32%)	101 (38%)
普通	5 (14%)	1 (11%)	6 (15%)	4 (15%)	8 (32%)	4 (8%)	5 (38%)	4 (14%)	10 (25%)	47 (18%)
どちらかとい えば不満足	0	0	0	0	1 (4%)	0	2 (15%)	0	0	3 (1%)
不満足	0	0	0	1 (4%)	0	0	0	0	0	1 (0.3%)
合計	35	9	41	27	25	48	13	28	40	266 (100%)

ロータリー活動は自己成長は自己成長につながっていますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
大いに役立っ ていると思う	9 (25%)	1 (11%)	15 (37%)	5 (19%)	2 (8%)	19 (35%)	3 (23%)	8 (30%)	13 (33%)	75 (27%)
役立っている	24 (67%)	7 (78%)	21 (51%)	20 (75%)	17 (68%)	23 (42%)	8 (61%)	16 (59%)	19 (47%)	155 (57%)
わからない	3 (8%)	0	5 (12%)	1 (3%)	3 (12%)	13 (28%)	1 (8%)	3 (11%)	8 (20%)	37 (14%)
あまり役立っ ていない	0	1 (11%)	0	1 (3%)	3 (12%)	0	1 (8%)	0	0	6 (2%)
役立って いない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	9	41	27	25	55	13	27	40	273 (100%)

第2地域 ロータリー財団コーディネーター補佐

服部 良男(愛知三州RC)

2016～17年ガバナーを終わって、3年間ロータリー財団地域コーディネーター補佐、その後3年間コーディネーターで最終年度です。6年に渡り、多くのロータリーリーダーの皆様、日本事務局の皆様と一緒に活動できたことは、人生の財産です。



第2地域は、9地区ありますが、そのすべての地区が積極的にロータリー財団活動に取り組んでいらっしゃる、熱心な地区ロータリー財団委員長がいらっしゃいました。多くの地区財団リーダーが永年、ロータリー財団活動のリーダーとして活躍していらっしゃる方ですので、地区のロータリー財団活動の経験のない私は、多くのことを学ぶ素晴らしい経験もありました。

そこで、地域のコーディネーターとしては、9地区のロータリー財団委員長の横のネットワークを創って、情報や、お困りごとを共有したりすることで、地域のとしての活性化をめざし、FF9というチームを創り5年になります。FF9とは、私の前任者の舟木いさ子RRFCのF、Rotary FoundationのFそして、9地区の9の頭文字です。ガバナーはガバナー会として横のつながりがありますが、地区委員長は、横の連携が無いので地域のコーディネーション

が必要と結成しました。今年からは、E/MGA、EPNCもFF9に参加いただきました。

RRFCの3年間は、コロナ禍で、ほとんど、Zoomにてのオンライン会議になりましたが、2750地区の高橋茂樹補佐、2780地区の田中賢三、佐野英之補佐、2760地区の中村公彦、伊藤靖祐補佐と素晴らしい補佐に恵まれ、オンラインだから、より各地区のリーダーと交流や情報共有ができたと思います。FF9Newsを発行して、他地区の活動を共有したりしました。

今年度は、第2地域の地域リーダーが協働してチームになることを目指し、RPICの服部陽子様、RCの野口英一様、E/MGAの杉岡芳樹様、EPNCの伊藤雅基様と一緒に昨年10月の世界ポリオデー2022を企画運営いたしました。34地区の皆様には、ご協力いただき、誠にありがとうございます。地域リーダーチーム力が少しアップしたのではないかと思います。

コロナのパンデミックがあったから、オンラインしかできなかったから、このようにFF9のチーム力が上がったし、地域リーダーの連携ができたと思っています。まさにコロナという脅威が連携という機会につながったと思います。

次年度に向け、次年度RRFCの伊藤靖祐リーダーと更なる活性化を目指していきたいと思っています。今後もご支援、ご協力よろしくお願いたします。

第2640地区 会員数報告(2023年3月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	22.7.1	内女性	23.3月末	内女性	3月	内女性	累計	3月	内女性	累計		22.7.1	内女性	23.3月末	内女性	3月	内女性	累計	3月	内女性	累計
串本	6	1	6	1	0	0	0	0	0	0	松原	14	0	13	0	0	0	1	0	1	
那智勝浦	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	松原中	24	3	24	3	0	0	0	0	0	
新宮	49	2	49	2	0	0	1	0	0	2	美原	5	1	7	1	0	0	3	0	0	
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	8	1	6	0	0	0	2	1	2	
田辺	83	3	84	3	0	0	4	0	0	3	太子	17	1	16	1	0	0	1	0	1	
田辺東	37	3	37	3	0	0	0	0	0	0	富田林	34	0	34	0	0	0	0	0	0	
田辺はまゆう	27	5	30	6	0	0	6	1	0	3	泉佐野	19	0	25	0	0	7	0	0	1	
有田	26	1	26	1	0	0	0	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	
有田南	23	1	23	2	0	0	1	0	0	1	貝塚コスモス	11	3	12	3	0	0	1	0	0	
有田2000	15	0	14	0	0	0	0	1	0	1	関西国際空港	17	1	17	1	1	0	1	0	0	
御坊	39	3	39	3	1	0	1	0	0	1	岸和田	31	1	31	1	0	0	3	1	0	
御坊東	14	0	13	0	0	0	0	0	0	1	岸和田東	39	6	41	7	1	1	3	0	0	
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田南	7	0	7	0	0	0	0	0	2	
海南	9	0	9	0	0	0	1	0	0	0	KUMATORI向日美	8	2	8	2	0	0	0	0	0	
海南東	40	5	44	6	0	0	5	0	0	0	りんくう泉佐野	16	3	16	3	0	0	0	0	0	
海南西	16	1	15	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	15	1	17	2	0	0	5	0	0	
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	和泉	22	0	20	0	0	0	0	0	2	
和歌山	73	1	75	1	0	0	4	0	0	2	泉大津	44	3	42	3	0	0	1	0	0	
和歌山アゼリア	28	9	30	11	1	1	2	0	0	0	和泉南	57	2	58	2	0	0	1	0	0	
和歌山東	42	0	50	0	0	0	8	0	0	0	大阪金剛	13	1	12	1	0	0	0	0	1	
和歌山城南	37	1	35	2	0	0	1	1	0	3	高石	24	1	25	1	0	0	2	0	0	
和歌山中	21	0	19	0	0	0	0	1	0	2	高師浜	11	1	10	1	0	0	0	1	0	
和歌山北	29	1	32	1	0	0	4	1	0	1	堺	39	4	36	4	0	0	3	4	0	
和歌山南	70	4	71	6	0	0	4	0	0	3	堺東	16	2	16	3	1	1	1	1	2	
和歌山東南	35	5	36	5	1	0	3	0	0	2	堺泉ヶ丘	23	3	23	3	0	0	0	0	0	
和歌山西	9	1	10	1	0	0	1	0	0	0	堺中	20	3	19	3	0	0	0	1	0	
橋本	45	0	43	0	0	0	2	2	0	4	堺北	29	1	28	1	0	0	1	0	0	
岩出	23	1	24	1	0	0	2	0	0	1	堺おおいずみ	26	3	25	3	0	0	0	0	0	
河内長野高野街道	16	3	16	3	0	0	1	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	
粉河	16	1	14	1	0	0	0	1	0	2	堺清陵	22	4	19	4	0	0	0	0	3	
高野山	16	0	15	0	0	0	0	0	0	1											
羽曳野	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪ロータリーEクラブ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	
河内長野	20	4	21	4	0	0	2	0	0	0											
河内長野東	21	1	21	1	0	0	0	0	0	0											
											計	1,577	120	1,589	130	6	3	85	20	2	68



クラブ数	2022年7月1日 会員数				2023年3月末 会員数				3月入会				3月退会				増減	
	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計	内女性		
65	1,457	120	1,577	1,459	130	1,589	6	3	18	2	20	-15	1	-14				

クラブを成功に導く 会員増強

みんなを温かく受け入れるクラブづくりを!

5月の行事予定表

日付	行事	場所
13(土)	新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議	和歌山JAビル 和ABC
	ローターアクト三役研修会 10:00~13:30	けやきONE 401
14(日)	RLI part III	ZOOM
20(土)	22-23年度 第11回ガバナー補佐・幹事合同会議 14:00~16:00	けやきONE 401
	23-24年度 第4回ガバナー補佐・幹事合同会議 16:00~18:00	けやきONE 401
21(日)	第6回派遣候補生オリエンテーション	けやきONE 401
27(土)~31(水)	ロータリー国際大会	オーストラリア・メルボルン



ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、情報収集に努めています。皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける活動情報は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送付ください。また、毎号の表紙写真もご提供ください。

ガバナー月信は、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

地区IT・ガバナー月信委員会

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室
TEL (073) 426-2640
FAX (073) 426-2660
e-mail : morimoto@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

